



週間情報



No.2917

発行日 平成29年5月9日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

消防本部の動き

行事

◆ 「シダレザクラ祭り」で消防広報を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁尾久消防署では、平成29年4月8日（土）、尾久の原公園で開催されたシダレザクラ祭りにおいて、消防特別警戒と消防広報を実施しました。

消防広報コーナーでは、初期消火訓練、家具転倒対策のアンケート、防火衣着装体験等を実施し、絶えず行列ができるほどの大盛況となりました。また、当消防署の名物となっている防火防災訓練「突撃！リヤカー訓練隊」も登場し、約200本のシダレ桜の下を練り歩き、初期消火訓練を行いました。

「お祭りのついでに、ちょっと練習してみようかな。」と多くの家族連れが初期消火訓練に参加され、地域の行事における消防広報の効果と、楽しみながら防火防災訓練することの重要性を実感することができました。



【初期消火訓練の様子】

◆ トヨタ自動車九州株式会社「スプリングフェスタ2017」で消防広報を実施

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部（福岡）

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部では、平成29年4月9日（日）、トヨタ自動車九州株式会社主催の「スプリングフェスタ2017」において、消防広報を実施しました。

フェスタでは、警察、自衛隊と共に車両を展示するとともに、消防ならではの濃煙体験、子供用防火衣の試着、顔出しパネルでの写真撮影を実施しました。

このフェスタは「地元をはじめ、広く地域の方と接するお祭り」として毎年行われており、今年は約6,000人の来場者がありました。消防のブースでは多くの来場者が興味を示し、とても有意義な1日となりました。

今後もこのような機会を捉え、消防のPRを続けていきたいと思います。



【フェスタの様子】

訓練・演習

◆ 山林火災防ぎょ訓練を実施

枚方寝屋川消防組合消防本部（大阪）

枚方寝屋川消防組合消防本部では、平成29年4月16日（日）、枚方市大字穂谷において、平成29年度枚方東消防署・枚方市消防団合同山林火災防ぎょ訓練を実施しました。

訓練では、山林火災を含めた大規模災害時に地域の防災リーダーとして必要不可欠である消防団員との更なる相互協力体制の確立及び地域防災力の強化を目的に、山林火災に迅速かつ的確に対応するため、警防要員の集結訓練、中継送水訓練等を実施しました。

今回の訓練により、連携した大量送水体系の確立と防ぎょ技術の向上を図ることができました。



【訓練の様子】

その他

◆ 分署新庁舎が完成

埼玉西部消防局（埼玉）

埼玉西部消防局では、飯能市の中心地域を守る重要な防災拠点として、現在地での建替えを進めていました飯能日高消防署稲荷分署が3月に完成し、新庁舎での業務を開始しました。

新庁舎は、鉄骨造2階建て、敷地面積1190.02㎡、建築面積498.86㎡、延床面積705.61㎡で出場動線や生活環境の両面に配慮し、当直勤務を行う女性消防職員に必要な機能や設備を設けました。

4月1日（土）には開署式を開催し、消防組合管理者から式辞、消防組合議長等来賓から祝辞、消防局長から謝辞が述べられ、式典終了後に庁舎の内覧会が行われました。



【開署式の様子】



【新庁舎の外観】

◆ （一財）海上災害防止センターと協力協定を締結

北九州市消防局（福岡）

北九州市消防局では、平成29年4月11日（火）、北九州市と一般財団法人海上災害防止センターとの間で災害時の協力協定を締結しました。

この協定は、危険物や毒性物質等の災害が発生した場合、（一財）海上災害防止センターから災害対策への助言や物質の分析など災害活動の支援を得るもので、北九州市に（一財）海上災害防止センター九州支所が開設したことに伴い締結したものです。

（一財）海上災害防止センターは横浜市に本部を置き、海上に留まらず陸上での危険物等の事故対応にもあたり、昭和51年の認可法人としての発足以降、豊富な危険物等の災害対応実績を持っています。

協力内容には災害時だけでなく、平時の消防職員等への訓練・研修も含まれており、お互いのノウハウ等の情報交換を図ることによって、更なる特殊災害への対応能力向上に努めてまいります。



【締結式の様子】

◆ 特別査察員制度を開始 ～違反对象物公表制度開始に向けた防火安全指導の充実を目指し～ 伊丹市消防局（兵庫）

伊丹市消防局では、平成29年4月から特別査察員制度を開始しました。

特別査察員制度は、平成30年4月から開始される違反对象物公表制度を契機としたもので、予防技術資格者を特別査察員として任命し、査察体制強化を目指す当市消防局の査察のリーダーとして、防火対象物の法令違反の未然防止と防火安全対策の向上を図るため、社会福祉施設等の火災予防上重要な防火対象物の査察を実施します。

4月12日（水）には、消防局長が28名の特別査察員を任命し、その証として特別に腕章を貸与するとともに、「法令違反の指摘に留まらず、防火安全指導により、違反の未然防止と安全対策の向上に寄与し、防火対象物の火災予防に貢献してください。」と新たな査察のリーダーに向け訓示しました。



【任命式の様子】

◆ 出張所完成披露会を開催

千葉市消防局では、平成29年4月20日(木)、中央消防署宮崎出張所建替え工事の完了に伴い、完成披露会を開催しました。

当出張所は、“市内初”の「女性用施設及び72時間稼働可能な自家用発電設備を持つ消防出張所」になります。

消防庁舎は災害応急対策の消防拠点施設となることから、老朽化した消防出張所の建替えを行うことにより、消防活動体制の充実強化を図り、市民の安全安心を確保していきます。

千葉市消防局（千葉）



【完成披露会の様子】

◆ 消防署新庁舎が完成

長野市消防局（長野）

長野市消防局では、平成29年5月1日（月）から新たに新築移転した中央消防署新庁舎において業務を開始しました。

新庁舎は、大地震動後において構造体の補修をすることなく使用できることを目標とし、十分な機能確保が図れる耐震安全性を確保しています。また、訓練場を屋内に整備し、引揚救助・ロープブリッジ救出・ほふく救出・立て抗救出・崖地救出など、多様な訓練ができる施設となっています。

また今回の新築移転にあわせ、中央消防署旧庁舎に隣接していた旧防災市民センターを改修し、新たに鶴賀消防署として整備し、はしご車の分散配置や救急隊の増隊を図り、中心市街地における消防体制を強化しています。

中央消防署新庁舎の概要

敷地面積：5,998.39 m² 建築面積：1,245.16 m² 延床面積：3,772.42 m²

構 造：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造、地上5階建て

主な附属施設：放水訓練壁、懸垂幕昇降装置、地上式消火栓、防火水槽

主な付帯設備：融雪設備、太陽光発電設備、自家用発電設備、自動車排気設備、空気充填設備



【中央消防署新庁舎】



【屋内訓練場】

消防学校からの便り

◆ 「実火災体験型訓練施設」導入に伴い指導者研修を実施

愛媛県消防学校（愛媛）

愛媛県消防学校では、平成29年3月に「実火災体験型訓練施設」を導入しました。

平成29年度教育課程での運用開始を前に、3月27日（月）から30日（木）までの4日間、学校教官を対象として、消防大学校から教授をはじめ5名の講師を招き指導者研修を実施いたしました。

研修受講者は、座学で実火災体験型訓練の目的と重要性をはじめ、安全管理、火災性状の知識や個人装備等について学習し、実技訓練で習得した知識を基に施設運用方法から指導技法の修得に励みました。

今回の研修では、教官が主体的に取り組むことで、愛媛県消防学校における指導技法の統一が図られ、教官の指導力向上へつながりました。

今後は、更に教育技法の研究と訓練を重ね、より効果的な訓練を目指すとともに、消防職員の受傷事故防止をはじめ資質や能力の向上に取り組んでいきます。



【研修の様子】

◆ 消防学校新校舎完成式典を挙行

福岡県消防学校（福岡）

福岡県消防学校では、施設の老朽化と新たな訓練の充実のため福岡県嘉麻市への新築移転に伴い、平成29年4月10日（月）、関係者を招いて福岡県消防学校新校舎完成式典を挙行了しました。

約8万4千平方メートルに及ぶ敷地内には、新たに実火災訓練施設、屋内訓練場、水深5mの水難救助訓練施設、家屋火災訓練施設等が整備されているほか、150名が収容できる宿泊施設、食堂なども整備されています。

完成式典では、福岡県知事や市町村長、消防関係者など約230名が出席し、テープカットや訓練展示などで完成を祝いました。知事は式辞で「最新の訓練施設を活用し、消防防災のレベルを向上させてほしい。」と述べました。

新しい消防学校では、県内消防本部で新たに採用された消防職員123名が4月13日（木）に入校し、6か月間に及ぶ厳しい初任教育が開始されました。



【式典の様子】



【消防学校の全景】

消防庁通知等

◆ 警防活動時等における消防職員の安全管理の再徹底について（４月２７日、消防消第１０３号）

消防庁消防・救急課長より、都道府県消防防災主管部局長あてに次のとおり通知されましたのでお知らせします。

平成29年４月６日、千葉県君津市の建物火災において、消防職員が要救助者の検索のための消防活動を行っていたところ、急激に黒煙に巻かれて職員の所在が不明となり、その後救出されたものの重傷を負い、４月23日に死亡するという極めて憂慮すべき事故が発生しました。

事故原因等について、管轄消防本部で検証されるところですが、今回の事故を鑑み、各消防本部については、「安全管理体制の整備について」（昭和58年７月26日付消防消第90号）及び「警防活動時等における安全管理マニュアル及び訓練時における安全管理マニュアルの一部改正について」（平成28年３月31日付消防消第63号）等に基づき、安全管理体制の再点検及び安全管理マニュアルの再徹底を図るなど、事故防止に万全を期するようお願いします。（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2904/pdf/290427_syo103.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

消防・救急課 職員第一係
担当：芥田、桑原

報道発表

◆ 危険物の規制に関する政令別表第一及び同令別表第二の総務省令で定める物質及び数量を指定する省令の一部を改正する省令（案）に対する意見公募（４月２７日、消防庁）

危険物の規制に関する政令別表第一及び同令別表第二の総務省令で定める物質及び数量を指定する省令の一部を改正する省令（案）の内容について、平成29年４月28日から平成29年６月2日までの間、意見を公募します。（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/04/290427_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

危険物保安室
担当：大越課長補佐、谷口事務官

◆ 平成29年春の褒章（消防関係）（４月２８日、消防庁）

平成29年春の褒章（消防関係）受章者は102名で、褒章別内訳は次のとおりです。

紅綬褒章	3名
黄綬褒章	7名
藍綬褒章	92名
計	102名

（受章者名等は、別添（省略）の受章者名簿に記載されています。）

発令年月日 平成29年４月29日（木）

（以下省略）

- 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/04/290428_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

総務課

担当：篠宮政策評価広報官、矢島係長

◆ 平成29年春の叙勲（消防関係）（4月29日、消防庁）

平成29年春の叙勲（消防関係）受章者は606名で、勲章別内訳は次のとおりです。

旭日小綬章	1名
瑞宝小綬章	19名
旭日双光章	3名
瑞宝双光章	110名
瑞宝単光章	473名
計	606名

（受章者名等は、別添（省略）の受章者名簿に記載されています。）

発令年月日 平成29年4月29日（土）

（以下省略）

- 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/04/290429_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

総務課

担当：篠宮政策評価広報官、矢島係長

◆ 平成29年度危険物保安功労者等表彰（5月2日、消防庁）

危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進することを目的に、危険物保安功労者、優良危険物関係事業所、危険物安全週間推進標語及び危険物事故防止対策論文の消防庁長官賞の表彰を行います。表彰の内訳は次のとおりです。

危険物保安功労者（消防庁長官賞）	19名・2団体
優良危険物関係事業所（消防庁長官賞）	24事業所
危険物安全週間推進標語（消防庁長官賞）	1名
危険物事故防止対策論文（消防庁長官賞）	1名

※受賞者は、別添（省略）の受賞者名簿を御覧ください。

（以下省略）

- 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/05/290502_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

危険物保安室

担当：菊地、篠崎

※ 消防庁各課室の直通電話番号は (<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>) に掲載されています。

情報提供

◆ 2017（第21回）JFFW交流会 ～世界に誇る 千年の都 京都で 自分磨き～

JFFW交流会

JFFWはJapan Fire Fighting Women's Clubの略で、女性消防吏員が中心となり研修会等を実施しています。毎年実施される交流会では、全国から消防職員が自主的に集まり勉強会や情報交換を行い、消防本部の枠を越え消防職員相互の親睦を深めるとともに自己研鑽を図っています。

今年のJFFW交流会は千年の都・京都で開催いたします。

- 1 日時 平成29年7月1日(土)12時30分から17時00分
平成29年7月2日(日)オブション研修
(詳細は<http://www7a.biglobe.ne.jp/~club-jffw>を参照)
- 2 会場 〒617-0833 京都府長岡京市神足2丁目3番1号
バンビオ1番館内 長岡京市中央生涯学習センター
- 3 参加者 全国消防吏員及びOB等支援者で参加を希望する方
参加申し込み定員 200名（定員になり次第締め切らせていただきます）
- 4 参加費 交流会 3,000円程度（資料代等）
懇親会 5,000円程度（18:30～20:30（受付18:00～））
※ 懇親会は定員先着120名。新都ホテル1階ラフィネ
（京都市南区西九条院町17 電話075-661-7111）
- 5 交流会内容 司会：石郷岡夕季（京都市消防局）前 綾華（宇治市消防本部）
11:00～ 交流会の前に交流フリータイム
交流・名刺交換タイム……日本全国に仲間を増やそう！
12:30～ 開会 開会挨拶 乙訓消防組合本部 上田理枝
開催地代表挨拶 長岡京市長 中小路 健吾 乙訓消防組合消防長 上田 憲治
12:55～14:25 トークセッション
テーマ（仮称）「自分らしく働ける職場へ～これからの女性活躍に向けての取組みと思い～」
パネリスト ㈱ワコールホールディングス
取締役執行役員 ダイバーシティ推進室長 葛西順子 氏
㈱京都銀行 金融大学校 学校長 奥野美奈子 氏
総務省消防庁 消防救急課長 小宮大一郎 氏
コーディネーター 京都市消防局 目片貴美子
14:30～14:50 集合写真撮影
14:50～16:00 分科会（お茶菓子あり）
第1分科会 災害派遣を考える（派遣を受け入れる・派遣される）
第2分科会 家庭との両立を考える（結婚・育児・出産）
第3分科会 第2の人生を考える（引退してからどう生きる！？）
第4分科会 リーダーシップを考える（部下との関係・組織運営）
第5分科会 その他色々考える（コミュニケーション・職場環境など上記の分類にないもの）
16:00～16:25 全体発表 大会議室（1班5分）
16:30 閉会 閉会あいさつ 京都市消防局 福田真由子

【問い合わせ先】

JFFW交流会事務局

（乙訓消防組合消防本部総務課・上田理枝／電話075-953-6033）

Eメール Jffw2017@otokuni119-kyoto.jp

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail: weekly@fcaj.gr.jp